

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【公表番号】特表 2011-524768 (P2011-524768A)  
 【公表日】平成 23 年 9 月 8 日 (2011.9.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-036  
 【出願番号】特願 2011-514130 (P2011-514130)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/00 3 0 5

A 6 1 F 13/00 3 5 5 G

A 6 1 F 13/00 3 5 5 L

A 6 1 F 13/12

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 2 月 3 日 (2012.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの区画を有する密閉された囲いと、前記少なくとも 1 つの区画内に配置される複数の離間した柱様構造と、前記少なくとも 1 つの区画から空気を排出するための手段と、を備える創傷被覆材であって、前記少なくとも 1 つの区画からの空気の排出が、前記柱様構造のうちの少なくとも 2 つの間の距離の減少を生じる、創傷被覆材。

【請求項 2】

前記柱様構造は、前記区画内で均一に間隔をあけている、請求項 1 に記載の創傷被覆材。

【請求項 3】

前記柱様構造は円筒状の柱である、請求項 1 または 2 に記載の創傷被覆材。

【請求項 4】

前記柱様構造の各々は、格子様構造を規定するために、接続部材によって、隣接する柱様構造に接続される、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の創傷被覆材。

【請求項 5】

前記密閉された囲いは第 1 の薄層および第 2 の薄層を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の創傷被覆材。

【請求項 6】

前記密閉された囲いを規定するために、前記第 1 の薄層および前記第 2 の薄層は、それらの端部の周囲で一緒に結合される、請求項 5 に記載の創傷被覆材。

【請求項 7】

複数の前記柱様構造は、前記第 1 の薄層と前記第 2 の薄層との間に移動可能に保持される、請求項 5 または 6 に記載の創傷被覆材。

【請求項 8】

複数の前記柱様構造は、前記第 1 の薄層および / または前記第 2 の薄層に接続することによって前記第 1 の薄層と前記第 2 の薄層との間の位置に保持される、請求項 5 または 6

に記載の創傷被覆材。

【請求項 9】

複数の前記柱様構造は、前記薄層のうちの少なくとも 1 つと一体化する、請求項 5 または 6 に記載の創傷被覆材。

【請求項 10】

前記第 1 の薄層の一部は、少なくとも 2 つの前記柱様構造の間のスペース内に引き寄せられるように適合されて、少なくとも 2 つの前記柱様構造の間の距離を減少させる、請求項 5 ～ 9 のうちのいずれか一項に記載の創傷被覆材。

【請求項 11】

前記被覆材を患者の頭部に取り付けるためのフレーム部分をさらに含む、請求項 1 ～ 10 のうちのいずれか一項に記載の創傷被覆材。

【請求項 12】

前記フレーム部分は、前記被覆材を患者の頭部に固定するための固定バンドを含む、請求項 11 に記載の創傷被覆材。

【請求項 13】

前記フレーム部分は、前記固定バンドの作用長さを調節するための手段を含む、請求項 12 に記載の創傷被覆材。

【請求項 14】

前記固定バンドの作用長さを調節するための手段は、歯止めおよびラチェット機構を含む、請求項 13 に記載の創傷被覆材。

【請求項 15】

前記固定バンドのサイズを調節するための手段は、クリップ調節器を含む、請求項 13 または 14 に記載の創傷被覆材。

【請求項 16】

前記フレーム部分は、保持部材をさらに含む、請求項 11 ～ 15 のいずれか一項に記載の創傷被覆材。

【請求項 17】

前記フレーム部分は、可撓性のプラスチック材料を含む、請求項 11 ～ 16 のいずれか一項に記載の創傷被覆材。

【請求項 18】

ヘッドカバー部分と、固定バンドを含むフレーム部分とを含む、ヘッドギアであって、前記フレーム部分は、前記ヘッドギアの片側に配置される少なくとも 1 つの保持部材をさらに含み、前記保持部材は、使用の際に、前記固定バンドと独立して前記ヘッドギアが外れることを抑制する、ヘッドギア。